

一般社団法人日本分析機器工業会における 自主行動計画フォローアップ調査について

令和3年3月22日

一般社団法人日本分析機器工業会

1. これまでの取組（普及活動等）

- ・ 自主行動計画の作成・工業会HPにて公開
（2020年1月公表）
- ・ 調達小委員会の設置（2020年11月）
自主行動計画フォローアップ調査結果内容検討、意見交換による
課題共有
- ・ 「下請等中小企業の取引条件改善への取組について」講演実施
（2020年11月）
- ・ 中企庁において実施される下請取引適正化推進講習会・適正取引
講習会（オンライン）の周知（2020年11月）
- ・ 中小企業庁適正取引関連取組動向についての会員周知（随時）

2. 令和2年度フォローアップ調査結果（概要）

- ・ 調査期間：令和2年10月15日～11月10日
- ・ 調査企業：一般社団法人日本分析機器工業会
会員企業 81社を対象
- ・ 回答企業：30社（初回）
- ・ 回答率：37%（初回）

概観（改善できた点、改善の余地がある点等特筆すべき内容を記載）

- ✓ 適正取引関連法令、振興基準等はほとんどの企業で関係部門に周知実施済み。
- ✓ 型取引に関するルールの整備も多くの企業で実施済み。
- ✓ 下請代金支払は多くの会社が現金払い、一部90日、120日のサイトの企業もある。

3. 令和2年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取り組み①型取引の適正化

設問20 1年前と比較して、型管理の課題は改善されましたか。

【分析結果】

- ・発注側回答では、「改善された、やや改善された、型管理の課題はない」と全社回答している。

設問22 型管理における適正化や改善への取組は実施できましたか。

【分析結果】

- ・発注側回答では、①保管費用の負担、②保管期間を過ぎた型の返却や廃棄の促進いずれも「概ね実施済み＋一部実施」を合わせ概ね実施と回答している。

3. 令和2年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取り組み①型取引の適正化

【現状の課題】

- ・ 回答企業は概ね実施と回答。

【今後の取組】

- ・ 今後とも、引き続き啓発。

3. 令和2年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取り組み②支払条件の改善

設問25 下請代金を手形等で支払っている（支払われている）割合はどれくらいですか。

【分析結果】

- ・発注側、受注側ともに「全て現金払い、50%未満」と回答している企業が70%、「手形支払い50%以上」が30%となっている。

設問27 下請代金を手形等で支払っている場合、手形等のサイトはどれくらいですか。

【分析結果】

- ・発注側で下請代金支払は多くの会社が現金払いだが、一部に90日、120日のサイトの企業がある。

3. 令和2年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取り組み②支払条件の改善

【現状の課題】

- ・手形の短縮化の啓発が課題。

【今後の取組】

- ・今後とも、引き続き啓発。

3. 令和2年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取り組み③価格決定方法の適正化

設問6 貴社は、原価低減要請の方法について、口頭での要請等、振興基準（自主行動計画）に記載された望ましくない事例を行わないことを徹底していますか。／貴社が「受注側の立場」では、同内容が発注側企業において徹底されていますか。

【分析結果】

- ・発注側回答では、「実施済み＋一部実施」を合わせ概ね実施と回答している。
- ・受注側回答でも「実施済み＋一部実施」を合わせ概ね実施と回答している。

設問16 2020年度（上期）に適用する単価の決定・改定にあたり、十分な協議を実施しましたか。

【分析結果】

- ・発注側回答では、「実施済み＋一部実施」と全社回答している。
- ・受注側回答でも「実施済み＋一部実施」と全社回答している。

3. 令和2年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取り組み③価格決定方法の適正化

【現状の課題】

- ・ 回答企業は概ね実施と回答。

【今後の取組】

- ・ 今後とも、引き続き啓発。

4. まとめ（今後の取組、目標）

【今後の取組】

- ・自主行動計画フォローアップ調査実施
- ・自主行動計画フォローアップ、課題共有、適正取引の推進のため、調達小委員会を年1～2回程度開催予定。